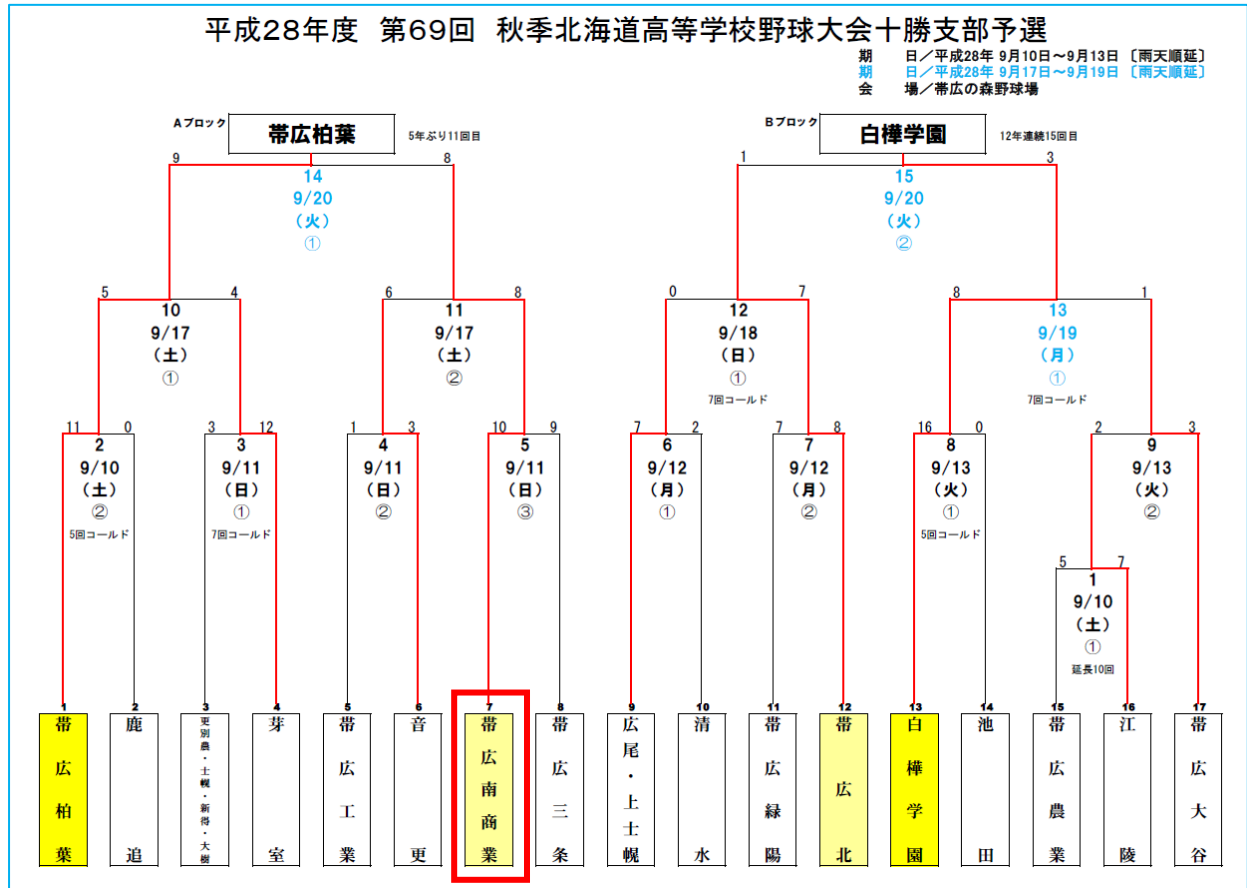


応援ありがとう
ございました。

秋季大会準決勝（対 音更高校）、雨で1日順延となった代表決定戦（対 帯広柏葉高校）。多くの方の応援をいただき本当にありがとうございました。野球部以外でも秋季大会で、テニス部が男女団体優勝、バスケットボール部も優勝と、とても良い流れできていた南商の部活動。その流れに乗って、6年ぶりの代表決定戦、さらには12年ぶりの全道大会出場を目指し、選手たちは力の限り頑張りました。結果は、残念ながら8対9と力及ばず負けてしまいました。しかし、この大会でつかんだ自信と得た経験を糧に、この冬を乗り越え、来春には今年以上にグラウンドで躍動する選手たちの姿を見せることができると思います。今後とも、南商野球部の活動へのご理解とご協力、ご声援をよろしくお願いします。



【Aブロック 準決勝 対 音更高校】

プレーボール	13:32	ゲームセット	16:05	試合時間	2時間29分	当番校	帯広大谷	中断時間	4分								
対戦校名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	計	
帯広南商	1	0	1	1	2	3	0	0	0							8	
音更	0	0	2	0	0	4	0	0	0							6	
先攻（帯広南商）										後攻（音更）							
投手・捕手	飛世-寺本										佐藤-萱森						
本塁打	小川(5回)																
三塁打	寺本(3回)										萩内(5回)、牛山(6回)						
二塁打	飛世(5回)、寺本(6回)、川原(6回)										遠藤承(7回)						
備考	選手負傷による中断(7回表)																



【Aブロック 代表決定戦 対 帯広柏葉高校】

プレーボール	09:58	ゲームセット	12:29	試合時間	2時間31分	当番校	帯広大谷										
対戦校名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	計	
帯広南商	0	3	0	0	0	2	0	2	1							8	
帯広柏葉	1	0	2	2	0	1	2	1	X							9	
先攻（帯広南商）																	
投手・捕手	飛世-寺本										後攻（帯広柏葉）						
本塁打											野澤、坂東里（2回）、伊藤（9回）-西山						
三塁打	小川（8回）										小野寺（4回）、高沼（8回）						
二塁打	大浦（9回）、寺本（9回）										橋（1回）、西山（4回）						
備考																	



秋の大会が終了しました。どうにか代表決定戦まで勝ち進むことができましたが、あと一步というところで力及びませんでした。

久々の代表決定戦ということもあり、平日にも関わらず多くのOBの方々や支援者の方々が応援に駆けつけてくれました。本当にありがとうございます。この場をお借りしてお礼申し上げます。

今大会3試合、得点をとってはとられというシーソーゲームでした。惜しくも代表決定戦で敗れましたが、接戦をものにできたことや得点をとられても、取り返して相手を追い込むことができるようになったことは、選手の技量的な成長はもちろんのこと、それ以上に精神的な成長をベンチの中で見ることができました。選手としても大きな自信になったのではないのでしょうか。

入学時から言い続けている。うまくいかなかったとしても、自分の思ったようにならなかったとしても、心が折れそうになったとしても、そこでいかに踏みとどまれるか、我慢辛抱し、そこでいかに喘ぎ頑張りきることができるか、この夏休みの合宿、札幌遠征、旭川遠征、南商グランドでの練習をとおして、今大会の内容、結果をとおして、実感できたのではないのでしょうか。

練習を信じやりきることです。ここから4月までの練習の積み上げが春季大会、夏季大会の勝敗の結果として表れます。強い南商を待ち続けているOBの方々や支援者の方々、選手の頑張りを目の前で見て支えてくれている保護者の方々のためにも、諦めることなく、くじけることなく、感情に流されることなく、練習を信じやりきることです。

進路活動もある中で、夏休み、大会前と練習の手伝い等をしてくれた3年生ありがとう。3年生の力もありここまで勝ち進むことができました。本当にありがとう。

中学生の皆さん、現役選手の日頃の頑張り、南商野球部の施設設備環境、そしてそれを支えているOBの方々、支援者の方々、保護者の方々の力でやっとここまで来ることができました。南商野球部は1年生から試合に出場してもらい、チャンスを与えながら選手を育てています。1年生だからといって別メニュー。1年生だからといってスタンドで応援。1年生だからといって試合に出られない。南商野球部は学年関係なくチャンスを与えながら、結果を残す選手を、練習を信じ努力している選手を、チームの勝利に貢献できる選手をベンチに入れ、レギュラーとして試合に出場させています。

高校野球は3年間で9大会しかありません。1年間で3大会しかないのです。多くのチャンスを得て、多くの出場機会を与えてもらった方が高校野球人生を充実したものに、満足できるものになるのではないのでしょうか。

南商野球部は学年関係なく実力がある選手が試合で活躍できる野球部です。

南商は野球だけではなく、地元からも愛され、信頼のある学校です。就職はもちろんのこと進学もできる学校です。大学に進学し大学野球も経験し、最終的に地元十勝に就職（公務員もちろん帯広市役所・消防や農協など）するOBもたくさんいます。高校野球人生も大切ですが、その後の人生のほうがもっともっと長く重要なものになるはずです。

高校選びは今後の人生を左右する大切な決断です。その学校の進路実績、野球部としての進路先等を十分に理解して判断してください。目先のことだけにとらわれることなく、自分のこれからの人生、長い目でしっかりと考えご両親と慎重に話し合い進路先を決定してください。

南商野球部は中学生の皆さんや保護者の方々に、安心して預けられる野球部を目指し、具体的に実践している野球部です。